

遺伝子組換え作物由来の DNA 配列 (トウモロコシ加工食品定性試験)

1 概要

トウモロコシ加工食品における遺伝子組換え混入の有無を確認します。

2 試験方法

食品表示基準について(平成27年消食表第139号)別添「安全性審査済みの遺伝子組換え食品の検査方法 2.6. トウモロコシ加工食品の検査法」

3 検知対象

- ① P35S(*Cauliflower mosaic virus* 由来の35S promoter)
- ② TNOS(*Agrobacterium tumefaciens* 由来のNopaline synthase terminator)

4 分析試料の範囲

トウモロコシ加工食品

5 試験結果

「陽性」、「陰性」又は「検知不能」としてご報告します。

定量試験ではないため、数値(混入率)は得られません。

加工食品においては、加工過程で原料由来DNAが分解、除去されている場合があります。この場合、遺伝子組換え混入の有無を確認することはできず、「検知不能」としてご報告します。

6 検体必要量

120 g以上をご用意ください。

ご用意できる量が少ない場合はご相談下さい。

以 上